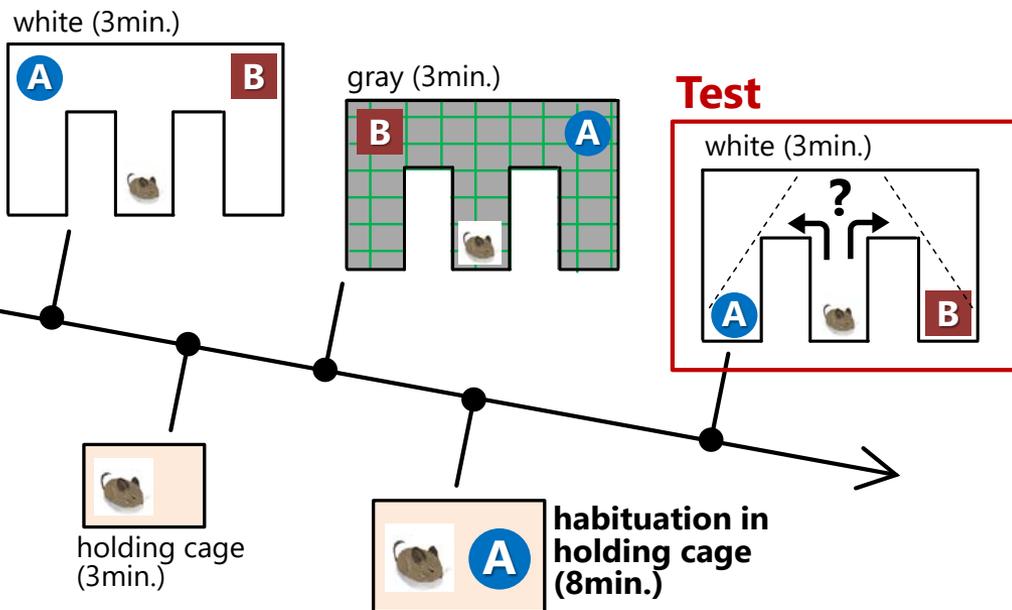
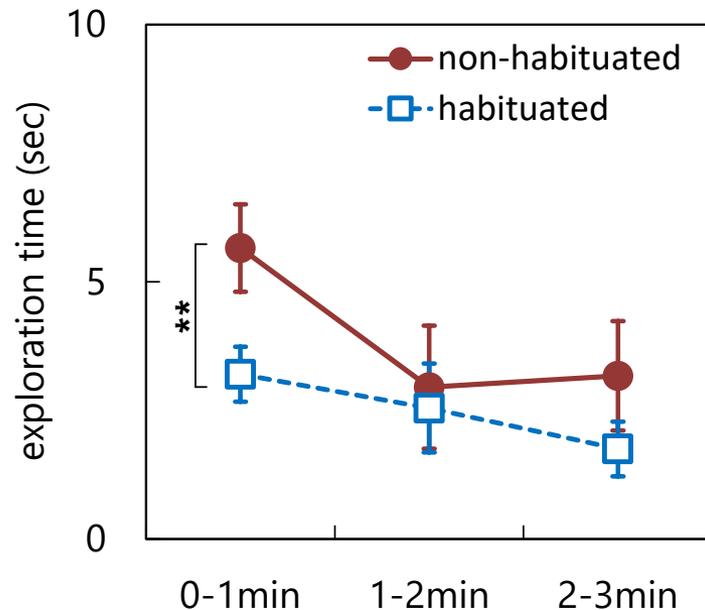


Betsuyaku, T., Tsuzuki, M., & Fujita, K. (2017).  
Recollection of What-Where-Which memory in degus  
(*Octodon degus*). *Psychologia*, in press.

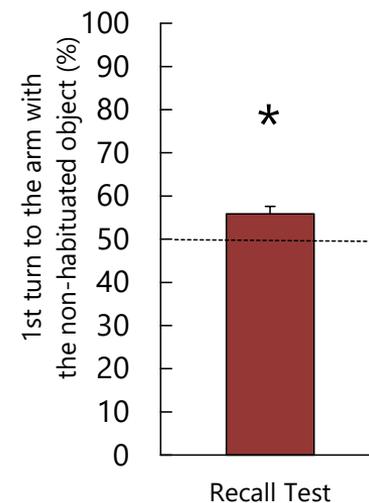
### Task (Recall Test)



### それぞれの物体に対する 1分ごとの平均探索時間



### より新奇な物体のあるアーム に対する平均第一転回率



左右に異なる物体(A・B)のある2種類のE字型迷路(白/グレー)を齧歯類のデグーに順番に探索させた。待機ケージ内で一方の物体(Aのみ)に慣らした後、最初に探索した迷路で物体をアーム先端に移動してテストを行うと、デグーはより新奇な物体(B)を多く探索した(グラフ上)。したがって、**デグーは(エピソード的記憶の一側面である)過去の内容(What)・場所(Where)・文脈(Which)を統合した記憶を持つことが示された**。また、物体の見えない中央アームからより新奇な物体のあるアームに転回した(グラフ下)ため、彼らの選択は**記憶の再生に基づいている可能性が示唆された**。

※物体ペアは試行ごとに変更、迷路の探索順は試行ごとにカウンタバランス、迷路文脈によって物体配置を逆転